

令和5年度 東京の水産業振興に向けた専門懇談会（第3回）

次 第

令和6年2月9日（金）

午後1時00分～午後3時00分

都庁第一本庁舎21階 海区委員会室

1 開会

2 議事

（1）懇談会でのご意見を踏まえた令和6年度の展開について

3 閉会

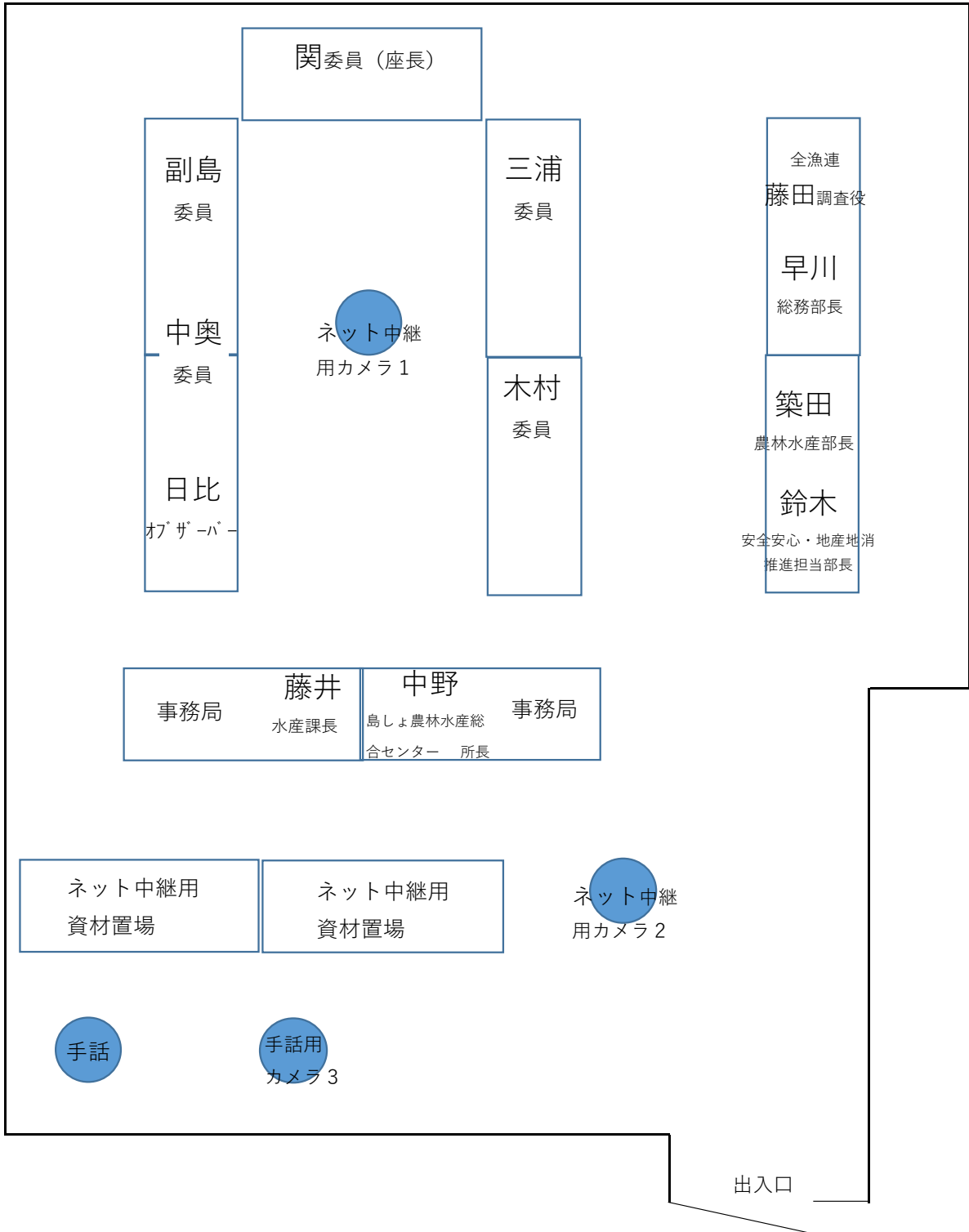
## 東京の水産業振興に向けた専門懇談会 専門家等名簿

氏 名		現 職 等
委員	木村 伸吾	東京大学大学院新領域創成科学研究科／大気海洋研究所 教授
	関 いずみ	東海大学人文学部 教授
	副島 久実	摂南大学農学部 准教授
	中奥 龍也	全国内水面漁業協同組合連合会 専務理事
	三浦 秀樹	全国漁業協同組合連合会 常務理事
オブ ザー バー	日比 絵里子	国際連合食料農業機関（F A O） 駐日連絡事務所長

（五十音順、敬称略）

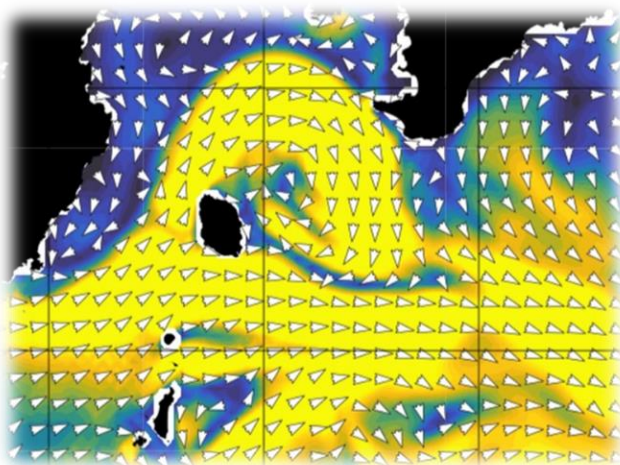
# 東京の水産業振興に向けた専門懇談会（第3回） 座席表

令和6年2月9日（金）午後1時開会  
都庁第1本庁舎21階 海区漁業調整委員会室





# 東京の水産振興に向けた 専門懇談会 (第3回)



# 1 海洋環境

## 資源管理の推進

- 大学と連携し、資源管理に必要な主要魚種の移動生態を解明
- 操業情報を迅速かつ効率的に収集するため、デジタル操業日誌等の運用を開始
- キンメダイに加え、漁業者と連携した標識放流対象魚種をキハダマグロにも拡充



デジタル操業日誌



タグの装着



新たな魚種の種苗生産



藻類の増殖手法の開発

## 海洋環境変化への対応

- 藻場の再生や新たな魚種の生産に対応するため、栽培漁業センターのリニューアルに向けた設計に着手
- 海藻種苗を海域に設置することなどにより、効果的な藻場造成技術の開発に着手
- 藻場造成に伴い生じるブルーカーボンのクレジット化を検討

## 2 経営

### 漁業協同組合経営の効率化

- 荷捌き作業の省力化に向け、漁協へのスマート計量システムの導入を支援



スマート計量システム(電子秤とタブレットを連携)

### 漁業所得の向上

- 衛生管理体制の改善や生産物の品質向上を図るため、漁業生産現場に流通・販売のプロを派遣
- 漁獲される魚種の変化や、新たな需要に対応した新商品の開発や販路開拓等を支援
- 漁業生産者による東京産水産物の海外販路開拓を後押しするため、プロモーション活動や試験出荷を支援



鮮度保持講習会



海外での販路開拓

### 3 マーケティング・ブランド化

#### 対象を絞ったマーケティングによる消費拡大と認知度向上

- 小中学生向け出前授業や子育て世代対象の調理講習会等を開催し、東京産水産物への理解と消費を促進
- イベント等で、資源や環境に配慮し漁獲された「ブルーシーフード」等をPR
- 「タイパ」など新たな視点等も盛り込んだレシピ動画等を作成するなど、魚食促進のPRコンテンツを充実
- 他地域での取組事例収集のため、漁業者や漁協女性部員等の視察や交流会等への参加を支援



調理講習会の開催



ガイドブックイメージ

## 4 漁村地域活性化、人材育成

### 漁村地域の活性化

- 町村や漁協女性部、生産者等による小中学校への出前授業など食育活動を支援
- 漁獲される魚種の変化や、新たな需要に対応した新商品の開発や販路開拓等を支援（再掲）
- 他地域での取組事例収集のため、漁業者や漁協女性部員等の視察や交流会等への参加を支援（再掲）



出前授業



新たな魚種による新商品の開発



就職相談会への参加



漁協職員資格取得支援(フォークリフト)

### 人材育成

- 国が開催する漁業就業フェアへの参加に加え、民間等の就業相談会を活用し、マッチング機会を充実
- インフルエンサー等を活用し、東京の漁業の魅力を発信
- 業務に必要な資格取得を目指す漁協職員などを支援



## 5 内水面漁業活性化

### 魅力的な釣場づくり

- 多様な漁場づくりを進めるため、禁漁区やキャッチ&リリース区間などを設定する漁協を支援
- 遊漁者の確保に向け、電子遊漁券を導入する漁協を支援
- 都民や釣り人等の意見をふまえ、新しい釣場づくりを検討



多摩川で釣りをする釣り人



人工産卵場へ放流されたアユ親魚



やな漁

### 多摩川のアユの活用

- 「江戸前アユ」を増やすため、遡上アユの汲上放流や産卵用親魚放流を支援
- 観光資源としての活用も視野に、産卵親魚の確保に「やな漁」の復活を検討